



取締役会長 森下 洋一

2003年度(2004年3月期)は、3カ年にわたる「創生21計画」の最終年度にあたり、「破壊と創造」をキーワードに取り組んできた事業構造改革が一定の成果をみた年でした。

この成果をベースに、2010年に21世紀においても持続可能な成長を遂げ、グローバルエクセレンスへの飛躍を果たすべく、2004年度(2005年3月期)から新たな3カ年経営計画「躍進21計画」を推進してまいります。

当社を取り巻く事業環境は今まで以上に、大きく激しく変化しています。24時間眠らないグローバル経済の潮流、地域経済のブロック化、そしてユビキタスネットワーク社会の到来は、ビジネスモデルや雇用構造を大きく変えつつあります。また、地球環境との共存が世界的な課題となり、当社には省エネルギーや省資源と生活の便利さ・快適さを両立する「新しい豊かさ」の実現が求められています。

このようにスピードと多様性を持って変化し続ける時代に勝ち残ることができるのは、確固たる経営理念のもと、商品・サービスで独自性を発揮しつつ変化に俊敏に対応できる企業です。私どもは、21世紀社会の

変化と要請をふまえ、お客様に真の価値をお届けする「お客様価値創造企業」に向けて改革と成長を続けてまいります。

こうした将来への取り組みを進めるにあたり、私どもは、松下幸之助創業者が確立した「企業は社会の公器である」という経営理念、すなわちCSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)に通じる不変の考え方を一層推進してまいります。当社は、今後とも株主・投資家の皆様、お客様、そしてすべてのステークホルダーの皆様に対して透明性を高め、説明責任を果たしつつ、事業を通じて社会に貢献し、企業価値の向上に努めてまいります。皆様方のご支援を心よりお願い申し上げます。

2004年5月

森下 洋一

取締役会長  
森下 洋一

中村 邦夫

取締役社長  
中村 邦夫



取締役社長 中村 邦夫